

## 心ゆたかに たくましく 生きぬく子

## 児童の実態

- 進んで読書に取り組み、たくさんの本を読むことができるが、本の選び方に個人差がある。
- 読み取る力が身に付きつつあるが、読み取ったことをもとに、自分の考えを適切な語彙を用いて表現する力が弱い。
- 仲間の意見と自分の意見を比べて聞く力が身に付きつつあるが、他の場面や段落、経験とつないで話す力が不十分である。

## 願う姿

- ☆進んで読書をし、知識や情報を増やしたり、目的に応じた本を読んだりすることができる子
- ☆たり、形成したりすることができる子
- ☆文章を正確に読み、読んだことをもとに自分の考えをもち、適切な語彙を用いて表現することができる子
- ☆友達の意見、他の場面、自分の経験とつなぐなど、仲間と関わり合いながら豊かに伝え合う子

## 研究主題

## 確かな読む力を身に付け、自らの考えを豊かに伝え合う子の育成 ～図書館教育と関わらせた「国語科」の指導～

## 研究仮説

国語科の指導事項をpushし、豊かに伝え合う資質能力を育成する言語活動と国語科の学習に結びつけた読書活動を工夫した単元指導計画を作成し、系統的に指導するとともに、課題を焦点化し、交流活動の位置付けや、終末でのまとめの場の持ち方を工夫することで、課題解決に向けて主体的に関わり合いながら、読む力を一層身に付けると共に、自分の考えを豊かに伝え合う子どもを育てることができる。

## 研究内容

## 研究内容 1

## ☆単元指導計画の工夫☆

- ①指導事項を明確にした単元指導計画
  - ・付けたい力の明確化
  - ・出口の活動を見通した単元指導計画の作成
  - ・学年間の単元との関連性の明確化
- ②付けたい力を身に付けさせるための言語活動の工夫
  - ・5つの言語活動表の作成
- ③国語科の学習と結びつけた読書活動
  - ・並行読書
  - ・調べ学習

## 研究内容 2 ☆学習過程の工夫☆

- ①意欲がもて、必然性のある課題設定の工夫
  - ・ねらいの焦点化
  - ・前時との関連性
- ②主体的に学び合い、語彙を豊かにする交流活動の工夫
  - ・語彙を豊かにする。(国語辞典・言葉の宝箱)
  - ・つないで話す。(場面・友達の意見・経験)
- ③学びが実感できるまとめの場の工夫
  - ・キーワードの提示
  - ・時数の制限
  - ・自己評価・相互評価

